



平成 31 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 S I G  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 石 川 純 生  
(コード番号：4386 東証 J A S D A Q)  
問 合 せ 先 経 営 企 画 部 長 上 條 一 行  
(TEL. 03-5213-4580)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 31 年 2 月 12 日開催の取締役会におきまして、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 30 年 6 月 21 日に公表いたしました平成 31 年 3 月期（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）の業績予想及び配当予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 3 月期の通期業績予想数値の修正

(1) 平成 31 年 3 月期の通期業績予想数値の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,138	百万円 313	百万円 308	百万円 185	円 銭 34.51
今回修正予想 (B)	4,175	343	322	232	43.04
増減額 (B-A)	37	30	14	47	
増減率 (%)	0.9	9.6	4.5	25.4	
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期)	3,804	306	300	179	37.16

(注) 当社は、平成31年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を行っておりますが、「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割が平成30年3月期の期首に行われたと仮定し算定しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の「1株当たり当期純利益」は、前回発表予想(A)が103円53銭、前期実績(平成30年3月期)が111円47銭であります。

(2) 修正の理由

平成 31 年 3 月期（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）の通期業績予想につきましては、当社の事業分類となるシステム開発事業及びインフラ・セキュリティサービス事業の各々において、当初の想定を上回る業績見込みとなっております。

システム開発事業につきましては、主要な事業領域となる製造系及びサービス系分野が堅調な業績見込みであるのに加え、公共系分野では平成 31 年 3 月期の特需プロジェクトとなるシステム再構築に関わる要員の需要が当初想定を上回っております。

インフラ・セキュリティサービス事業につきましては、公共系分野（独立行政法人及び官公庁）の維持保守・インフラ業務支援の安定需要に加え、クラウド運用・構築業務に関する需要が特に伸びた

証券系分野の業績が当初想定を上回っております。

利益面につきましては、売上の増加に伴う増益の他に、税制改正の適用を受ける見込みであります。

この結果、平成 31 年 3 月期の業績は、売上高 4,175 百万円、営業利益 343 百万円、経常利益 322 百万円、当期純利益 232 百万の見込みとなりました。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 修正の内容

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
前回発表予想	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回修正予想			—	17.00 (普通配当12.00) (記念配当 5.00)	17.00 (普通配当12.00) (記念配当 5.00)
当期実績 (平成31年 3 月期)	—	—	—		
(ご参考) 前期実績 (平成30年 3 月期)	—	—	—	0.00	0.00

### (2) 修正の理由

当社の配当政策は将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

このような配当政策と前項に記載いたしました通期業績予想の修正を踏まえ、当事業年度の配当予想について、前回発表予想の修正を行うものであります。

なお、平成 31 年 3 月期の期末配当金につきましては、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表するため、12 円 00 銭の普通配当に加え、5 円 00 銭の東京証券取引所 J A S D A Q 上場記念配当を実施し、1 株あたり 17 円 00 銭とすることにいたしました。

(注) 上記の業績予想及び配当予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上